

八尾市立病院経営計画の実施状況／平成25年度

<評価>

A→目標を達成または目標とする状況を実現
 B→項目により目標に届かないものがあるが、概ね目標とする状況を実現
 C→取り組みは一定進めたが目標未達成 D→具体的に進まず

1. 公立病院としての役割を果たす取り組み

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																		
(1) 地域の医療機関等との連携の強化	・地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認要件の維持	・地域医療支援病院承認要件に係る実地検査(9/10) ・地域医療支援委員会の開催(7/9、11/8、1/14、3/13)	A	・地域医療支援病院の要件である紹介率、逆紹介率の向上をめざし、診療機能のPRを行うとともにMSWの増員、退院調整の充実等に取り組んだ。引き続き、承認継続に取り組みながら、地域の中核病院としての役割を果たしていく。																																		
	・紹介率、逆紹介率の向上	・紹介率 年間 50.0 %以上 ・逆紹介率 年間 60.0 %以上	・紹介率、逆紹介率の向上 ・その他の地域連携の推進 医療機関への広報活動強化 診療機能の充実(紹介への確実な対応) 登録医制度、開放病床の運用 病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムの運用拡大 市立病院だより、広報誌の発行 地域医療機関との研究会、協議会等の開催	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">H25年度実績 (%)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H25-目標</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>47.7</td> <td>△ 2.3</td> <td>46.4</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>64.5</td> <td>4.5</td> <td>60.0</td> <td>4.5</td> </tr> </table> <p>※経営計画では地域医療支援病院基準で紹介率を管理</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">H25年度実績 (人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> <tr> <td>初診紹介患者数</td> <td>11,322</td> <td>100.0</td> <td>11,175</td> <td>147</td> </tr> </table> <p>・登録医の状況、開放病床の年間の運用状況(3月末現在) 登録医制度登録医療機関 389件、登録医師 468人 医療機器共同利用 1,324件、開放病床 35床</p> <p>・病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムの運用 連携施設数 68施設、情報共有患者数 283人</p> <p>・「中河内地域感染防止対策協議会」 合同カンファレンス(2回)、個別カンファレンス(8回)</p> <p>・2ヶ月ごとの市内12病院病院事務長会議への参加 ・年3回の大阪府医師会勤務医部会第4ブロック会議への参加</p> <p>・診療機能のPR 八尾地域医療合同研究会(4/20、11/2) 招聘講演会(10/19) 「地域連携室だより」(隔月900部) 「診療のご案内」(年間600部)</p>	H25年度実績 (%)						H25	H25-目標	H24	H25-H24	紹介率	47.7	△ 2.3	46.4	1.3	逆紹介率	64.5	4.5	60.0	4.5	H25年度実績 (人)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	初診紹介患者数	11,322	100.0	11,175	147	B
H25年度実績 (%)																																								
	H25	H25-目標	H24	H25-H24																																				
紹介率	47.7	△ 2.3	46.4	1.3																																				
逆紹介率	64.5	4.5	60.0	4.5																																				
H25年度実績 (人)																																								
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																				
初診紹介患者数	11,322	100.0	11,175	147																																				
(2) 救急患者の受け入れ	・「断らない救急」の実践	・救急患者数 年間 23,000 人 ・うち救急搬送受入数 年間 4,048 人 ・うち入院数 年間 2,638 人	・医師の確保(救急、一般内科) ・断らない救急をめざし、ベッド確保(ベッドコントロール) ・心臓コールド、脳神経外科、形成外科の救急受け入れの継続、画像転送による診断力の向上 ・救急受け入れ体制強化に向け、施設整備によるICU増床(H25年度～27年度)	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">H25年度実績 (人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> <tr> <td>救急患者数</td> <td>21,363</td> <td>92.9</td> <td>22,705</td> <td>△ 1,342</td> </tr> <tr> <td>うち救急搬送数</td> <td>3,327</td> <td>82.2</td> <td>3,965</td> <td>△ 638</td> </tr> <tr> <td>うち入院数</td> <td>2,299</td> <td>87.1</td> <td>2,587</td> <td>△ 288</td> </tr> </table> <p>・「心臓コールド」救急患者の受け入れ(年間33件←H24 34件) ・ICU増床を含む施設整備に着手</p>	H25年度実績 (人)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	救急患者数	21,363	92.9	22,705	△ 1,342	うち救急搬送数	3,327	82.2	3,965	△ 638	うち入院数	2,299	87.1	2,587	△ 288	C	<p>・救急医療については、救急標榜科のほか、心臓コールド等のオンコールによる対応を継続したが、患者数、救急搬送数、入院患者数ともに前年度よりも減少し、目標を下回った。</p> <p>・救急医療は、当院に求められる政策医療の一つとして、より積極的な受け入れに努める必要があり、H26年度には、ICU満床により受け入れできない状態を改善すべく施設整備工事を進める。</p>									
H25年度実績 (人)																																								
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																				
救急患者数	21,363	92.9	22,705	△ 1,342																																				
うち救急搬送数	3,327	82.2	3,965	△ 638																																				
うち入院数	2,299	87.1	2,587	△ 288																																				
(3) 周産期医療の提供	・周産期医療の提供	・分娩取り扱い件数 年間 740 件 ・緊急母体搬送受入件数 年間 24 件 ・NICU稼働率の向上 年間 85.0 %	・分娩件数の目標達成に向けた受け入れ ・近隣の病院、産婦人科医院との連携(紹介、新生児蘇生法の研修会実施) ・地域周産期母子医療センターとしてOGCS、NMCSシステムへの協力 ・NICUの効率的運用 ・産婦人科、小児科、NICUの連携強化	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">H25年度実績 (件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> <tr> <td>分娩取り扱い件数</td> <td>761</td> <td>102.8</td> <td>749</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>緊急母体搬送受入件数</td> <td>15</td> <td>62.5</td> <td>16</td> <td>△ 1</td> </tr> </table> <p>(%)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> <tr> <td>NICU病床利用率</td> <td>92.9</td> <td>109.3</td> <td>81.5</td> <td>11.4</td> </tr> </table> <p>・近隣施設での新生児蘇生法研修会の実施(11月1回、12月2回、2月1回)</p>	H25年度実績 (件)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	分娩取り扱い件数	761	102.8	749	12	緊急母体搬送受入件数	15	62.5	16	△ 1		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	NICU病床利用率	92.9	109.3	81.5	11.4	B	<p>・分娩件数については、現状の産婦人科の体制が続く中で、毎年度件数の増加に努めている。また、地域医療機関との連携として、産婦人科医を対象とした新生児蘇生法研修会を実施した。</p> <p>・NICUの利用率は、積極的な受け入れにより前年度実績と目標のいずれも上回った。 また、地域周産期母子医療センターとして、緊急母体搬送の受け入れとともに、新生児緊急搬送の受け入れが37件あった。引き続き、公立病院として周産期医療の提供を行っていく。</p>				
H25年度実績 (件)																																								
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																				
分娩取り扱い件数	761	102.8	749	12																																				
緊急母体搬送受入件数	15	62.5	16	△ 1																																				
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																				
NICU病床利用率	92.9	109.3	81.5	11.4																																				

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																			
(4) 疾病予防事業の提供	・人間ドックなどの健診と予防接種の実施	・人間ドック実施件数 年間 720 件	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック実施件数の目標達成に向けた受け入れ ・外来、入院治療に支障のない範囲での、その他健診、予防接種の受け入れ ・小児科における食物アレルギーおよび低身長検査入院の積極的受け入れ ・医療ケアを要する重症心身障害児の短期入院受け入れ ・保健所、学校等との連携 ・八尾市立病院公開講座の開催、市民への広報活動 	・H25年度実績 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック</td> <td>683</td> <td>94.9</td> <td>667</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>(うち脳ドック)</td> <td>(156)</td> <td></td> <td>(126)</td> <td>(30)</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>1,214</td> <td></td> <td>1,244</td> <td>△ 30</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>665</td> <td></td> <td>739</td> <td>△ 74</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>294</td> <td></td> <td>253</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>862</td> <td></td> <td>819</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	人間ドック	683	94.9	667	16	(うち脳ドック)	(156)		(126)	(30)	乳がん検診	1,214		1,244	△ 30	子宮がん検診	665		739	△ 74	大腸がん検診	294		253	41	特定健診	862		819	43	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック件数は、実施日の拡大が困難な中で実施件数を維持しているが、昨年度減少した脳ドックが増加し、全体件数が増加した。 ・脳ドックについては、一般検診のように毎年度受診しない場合があり、年度による件数の増減の要因となっている。 ・急性期病院として外来・入院での治療や検査に支障がない範囲で、人間ドック等の健診事業を実施することで、公立病院として予防医療に貢献していく。 ・小児科においては、学校園や保健所との連携により、低身長・食物アレルギー疾患に対する啓発活動を推進するとともに、必要な患者に対し検査入院を実施し、また重症心身障害児の短期入院を受け入れるなど、病床の有効な活用につなげた。 ・市立病院公開講座は、年間6回を目標に継続開催し、うち2回はプリズムホール、八尾市役所において開催した。さらに、行事に合わせ、看護部による健康相談を新たに実施した。 これらの活動を継続するとともに、地域における小規模な講座を企画していく。
					H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																	
人間ドック	683	94.9	667	16																																					
(うち脳ドック)	(156)		(126)	(30)																																					
乳がん検診	1,214		1,244	△ 30																																					
子宮がん検診	665		739	△ 74																																					
大腸がん検診	294		253	41																																					
特定健診	862		819	43																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・小児科入院検査 (成長ホルモン48件、食物アレルギー223件) ・重症心身障害児の短期入院受け入れ(5件) ・学校、保育所職員を対象とした研修会(8/21、11/6) ・保健師介入中のケアを要する小児例の情報交換会開催(3/3) ・市立病院公開講座(8/10、11/30、1/18、2/15、3/15、3/29) ・看護部による健康相談事業(公開講座と同時開催) ・市立病院だよりの発行 FMちやおへの出演 																																									
(5) 市災害医療センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時受け入れ訓練の実施 ・災害時対応資器材の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時受け入れ訓練の年1回以上の実施 ・災害時対応資器材の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の災害訓練に合わせた実施 ・整備が必要な資器材の選定とその配置 ・防災倉庫の整備(H25年度～27年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者受け入れ訓練の実施 応急救護訓練、及びに緊急連絡訓練(9/1) ・職員緊急メール送信訓練 ・大規模災害時の応急体制の整備・充実に向け、トリアージ関係用品や重傷者対応ベッド等の防災物品を購入 ・院内防災マニュアルの改訂 ・防災備蓄倉庫の充実に向け施設整備に着手 ・インフルエンザ関連の備蓄、災害対策要員用食糧備蓄の開始(5年で充足予定) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市災害医療センターとしての機能充実にに向けたマニュアルの改訂、並びに、トリアージ関係や重傷者対応ベッド等の購入など、防災物品の充実を図るとともに、災害時連絡訓練等を実施した。 ・引き続き、災害時における市災害医療センターとしての役割を果たせるよう整備に努める。 																																			

2. 医療の質の向上に対する取り組み

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																																							
(1)がん診療の充実	<ul style="list-style-type: none"> がん診療の充実 がん診療地域連携クリティカルパスの適用 	<ul style="list-style-type: none"> 年間がん患者件数 年間 1,980 件 がん患者の手術件数 年間 832 件 外来化学療法件数 年間 3,340 件 	<ul style="list-style-type: none"> 診療機能の充実、PR 緩和ケア、がん相談の継続実施 遺伝子検査の実施 施設整備(H25年度～27年度)の実施(外来化学療法室を4階に移し16床とする。外来手術室を全身麻酔対応手術室に改修) がん診療地域連携クリティカルパスの運用 	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">・H25年度実績 (件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>進捗率(%)</td> <td>H24</td> <td>H25-H24</td> </tr> <tr> <td>年間がん患者数</td> <td>2,072</td> <td>104.6</td> <td>1,954</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>がん患者の手術件数</td> <td>988</td> <td>118.8</td> <td>883</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法件数</td> <td>4,418</td> <td>132.3</td> <td>3,951</td> <td>467</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市立病院公開講座(肝・胆・膵疾患の外科的治療など6回実施) ・招聘講演会[MEET THE EXPERT](10/19) ・がん患者とその家族を対象にした展示「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」開催(6月) ・ピンクリボン運動「ジャパン・マンモグラフィ・サンデー」参加 ・肝臓がんよろず専門外来(11月～) <table border="1"> <tr> <td colspan="5">・H25年度実績 (件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>進捗率(%)</td> <td>H24</td> <td>H25-H24</td> </tr> <tr> <td>がん相談件数</td> <td>1,541</td> <td></td> <td>1,463</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>〃 (新規)</td> <td>717</td> <td></td> <td>646</td> <td>71</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチーム活動 (件) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>進捗率(%)</td> <td>H24</td> <td>H25-H24</td> </tr> <tr> <td>新規介入件数</td> <td>80</td> <td></td> <td>55</td> <td>25</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・手術機能、化学療法、患者サポート充実に向けた施設整備着手 ・がん治療の連携パスの運用開始(773件←H24 442件) 	・H25年度実績 (件)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	年間がん患者数	2,072	104.6	1,954	118	がん患者の手術件数	988	118.8	883	105	外来化学療法件数	4,418	132.3	3,951	467	・H25年度実績 (件)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	がん相談件数	1,541		1,463	78	〃 (新規)	717		646	71		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	新規介入件数	80		55	25	A	<ul style="list-style-type: none"> ・がん治療実績については、患者数、手術件数、外来化学療法件数ともに前年度を上回り、また、がん相談件数、緩和ケア新規介入件数についても前年度を上回った。 ・緩和ケア研修会の開催や市立病院公開講座の開催等により、がんに関する情報提供等に努めるとともに、初めて、海外から著名な医師を当院に招き、学術講演会を実施した。 ・地域医療連携の充実に向けた、がん診療連携パスの運用については、医療安全・患者の希望を考慮しつつ、患者の病態を見極めながら適用を進め、運用実績は大きく増加した。 ・大阪府がん診療拠点病院としての役割を果たすよう、施設整備による手術室の一部改修を行うとともに、緩和ケアセンターの設置、がん相談等に活用する患者サポートケアセンターの整備など着実な取り組みを進める。
・H25年度実績 (件)																																																													
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																																									
年間がん患者数	2,072	104.6	1,954	118																																																									
がん患者の手術件数	988	118.8	883	105																																																									
外来化学療法件数	4,418	132.3	3,951	467																																																									
・H25年度実績 (件)																																																													
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																																									
がん相談件数	1,541		1,463	78																																																									
〃 (新規)	717		646	71																																																									
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																																									
新規介入件数	80		55	25																																																									
(2)医療安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全に向けた継続的取り組みの計画と実践 	<ul style="list-style-type: none"> 院内巡視活動の充実 職員への周知・啓発のための定期的な活動 	<ul style="list-style-type: none"> 院内セーフティラウンドの実施(6月～2月、計18回) 医療安全講演会(年2回) 院内の標語掲示(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 院内ラウンドは6月以降、毎月2回実施 院内スタッフを対象とした医療安全講演会(年4回) 標語は毎月電子カルテシステムに掲載 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・標語の取り組みを計画に従い継続実施した。 																																																							
(3)市民・患者の声の反映	<ul style="list-style-type: none"> 接遇の向上 市民参加の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 接遇の向上 市民ボランティアの参画等 	<ul style="list-style-type: none"> 接遇向上に向け、職員対象に研修会を実施 利用者からの意見に対する対応 絵画掲示の継続 院内コンサート(中学校吹奏楽部)の継続 患者誘導等を中心とした病院ボランティアの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 院内スタッフを対象とした接遇講演会(年2回) 投書箱に寄せられた意見に対する対応を院内に掲示(対応を公表することが必要と判断したもの) 接遇強化月間の設定による接遇の意識向上(10月実施) 絵画の掲示の継続と更新(年1回) 院内コンサートの実施(年3回) 病院ボランティア活動の継続(H25年度登録者19人) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・標語の取り組みを計画に従い継続実施した。 ・昨年度から導入した病院ボランティアについては、19人の方々に登録いただき、外来での案内等に従事いただいた。また、ボランティアの視点から病院に対する提案をいただき運営に活かすよう努めた。 																																																							
(4)チーム医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療の実践 TQM活動による職場の活性化、職員の意識改革 病院機能評価の更新(Ver.1.0) 	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療発表会開催 TQM発表会開催、活動の定着化・水平展開 H26年度の実績に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> 各チームでの活動の活性化とその成果発表会の開催 TQMチーム募集と活動発表会の実施、TQM活動実行委員会による進行管理 受審のための説明会の参加、プロジェクト立ち上げ(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> 【チーム医療】 ・チーム医療推進委員会の再編 ・参加10チームにより、年度当初の目標設定、上半期終了時点の進捗状況の確認、年度末の発表会の開催 【TQM活動】 ・15チームの参加による活動と発表会開催(2/15) ・TQM活動実行委員会による、研修会、発表会開催、定着化・水平展開の働きかけ 【病院機能評価】 ・H26年7月の受審に向けた会議及び準備作業 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の職種のスタッフがチームを組んで行う「チーム医療」については、チーム医療推進委員会を再編し活動の更なる活性化を図り、発表会等による現場への情報発信とニーズ拡大に努めた。 ・TQM活動は、PFI事業者を含めた15チームが参加し、病院運営全般にわたり質の向上をめざして継続的に活動するとともに、実行委員会が中心となり、活動の成果の定着化、他部所への水平展開に取り組んだ。 ・医療機能のレベルを評価する病院機能評価について、2度目の更新に向け各部門が協力し準備を進めた。 																																																							

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等
(5)施設設備・機能の充実	・施設設備の拡充 ・高度医療機器の導入・更新	・機能拡充に向けた施設整備 ・必要性、導入効果等を勘案し、計画的に購入	・機能拡充に向けた施設整備の推進(H25年度～27年度) ・対象医療機器の使用状況と更新の必要性、収益見込み等を考慮した整備 ・修繕・改修工事については、緊急性、業務への影響等を考慮し可否を決定	・機能拡充に向けた施設整備事業に着手 駐輪場解体・埋蔵文化財調査 ・主な整備内容(税込) 血液成分分離装置(15,015千円) ハイビジョン鏡視下手術システム(14,824千円) セキュリティーシステム変更工事(21,897千円) 機能拡充に伴う駐輪場解体工事(17,888千円)	B	・病院の機能拡充に向けた施設整備については、H25年度中の入札不調により、事業期間をH27年度までに延長し、H25年度は駐輪場の解体工事と埋蔵文化財調査業務を実施した。(H26年度に建設工事に着手) ・機器整備については、緊急性、価格の妥当性を検証の上、補助金等の財源確保を図りながら整備を進めた。 ・H26年度は、施設整備工事を進めるとともに、導入から10年を超える主要な医療機器の更新について検討を進める。
(6)PFI事業者の経営支援機能の強化	・PFI事業者が実施する業務の充実及び経営支援機能の充実	・各業務の充実に向けたマネジメント機能の発揮 ・経営計画の目標達成に向けた経営支援、広報活動の充実	・診療報酬制度に対応した診療体制整備、診療報酬請求等の検証・提案 ・調達業務におけるコスト削減 ・市立病院の機能の広報(市民・医療機関) ・患者サービス向上の取り組み	・収益向上 診療単価の向上、診療報酬の適切な反映 ⇒3-(2)、3-(3)、3-(5) ・費用削減 調達コストの縮減 ⇒4-(2) その他経費の節減に係る提案 ⇒4-(3)、4-(4) ・患者サービス向上・その他 市立病院公開講座の運営、地域医療機関等への訪問、PR、地域医療支援病院の承認に向けた活動等 ⇒1-(1) 病院機能評価、TQM活動への参加⇒1-(4) 市災害医療センターの機能強化 ⇒1-(5) ロビーコンサート、絵画展の運営等 ⇒2-(3)	A	・SPCにおいては、病院の収益向上、コスト縮減、患者サービスの向上を目的として、毎年度、事業計画と実施スケジュールを作成し進行管理を行っている。 ・H25年度は、日常の業務運営のほか、施設整備事業、病院機能評価への協力等で支援が行われた。 引き続き、病院スタッフとの協働により、医療現場への情報発信、患者サービスと収益向上、コスト削減に取り組む。

3. 収益確保の取り組み

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																													
(1) 診療体制の充実 (医師の確保)	・医師の採用 ・モチベーション向上策の実施	・平成25年度の医師目標数 正職員81人 後期研修医13人 ・院内保育所の設置・運営 ・労働環境の整備 ・医師事務作業補助者数 8人 ・人事評価の具体的な実施方法策定	・各大学医局への要請を継続 ・診療方針・機能、医療ニーズに対応した診療科医師の重点確保 ・派遣大学との人事交流の促進 ・学会発表等の推奨 ・臨床研修プロジェクトの充実 ・院内保育所運営(継続実施) ・労働環境の整備に向けた、院内保育所、医局、会議室等の整備 ・業務負担の軽減に向けた医師事務作業補助者の採用継続 ・人事評価制度の検討	・H25年4月1日現在 正職員 77人、嘱託16人(初期研修医を除く) ・H26年4月1日現在 正職員 82人、嘱託11人(初期研修医を除く) ・大学病院等への訪問活動の継続 ・臨床研修医合同説明会(6/30)、近畿厚生局病院説明会(2/15)参加 ・院内保育(定員5名)の継続実施 ・院内保育所の拡充(定員20名)、医局等の拡充に向けた施設整備 ・H26年4月1日現在 医師事務作業補助者 9人	B	・H26年4月の医師数は、総数では104人となり、初期研修医11人を除く医師数は、前年度と同数の93人となった。引き続き、内科を中心にニーズが高い分野の医師確保に向け、事業管理者をはじめ幹部による大学への働きかけ等を行う。 ・医師の勤務環境の整備として、9人の医師事務作業補助者を確保し、加算の確保と円滑な業務運営に努めた。また、院内保育所、医局整備等、勤務環境の改善を含む施設整備事業に着手した。 ・医師の人事評価制度については、前年度の手当見直し以降は新たな進展はなかったが、引き続き、収支改善が進む中での導入の意義・必要性、手法を検討する。																																													
(看護師等の確保)	・職員の計画的採用	・平成25年度の目標数 看護師 300人 医療技術員 59人 事務職員 17人 ・年間を通じ、7:1基準看護等の条件を維持 ・新たな加算取得に向けた配置計画と採用	・情勢に対応した職員の迅速な確保に向け、職員採用試験を随時実施 ・非正規職員等の随時採用と活用 ・職員採用情報の広報(ホームページ、市政だより、ハローワーク等) ・多様な勤務形態の整備(2交代の検討) ・時間帯や各職場の需要に応じた人員の柔軟な配置と応援体制の継続 ・再就職支援事業への協力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職員数内訳</th> <th>25計画</th> <th>H25.4.1</th> <th>H26.3.31</th> <th>H26.4.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>300</td> <td>307</td> <td>301</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>【合計】</td> <td>457</td> <td>460</td> <td>457</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>嘱託・臨時職員</td> <td>120</td> <td>131</td> <td>123</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>【総合計】</td> <td>577</td> <td>591</td> <td>580</td> <td>586</td> </tr> <tr> <td>定数外職員の割合(%)</td> <td>(20.8)</td> <td>(22.2)</td> <td>(21.2)</td> <td>(19.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業管理者除く ・看護師採用試験を年4回実施 ・不足する特定部門の看護師の募集(OP室非常勤2名採用) ・薬剤師、放射線技師、検査技師、MSW採用試験の実施 ・地域の求人情報誌の活用、看護部による学校訪問の強化 ・看護師の2交代制検討会の開催 ・看護師の再就職支援講習会(11月)</p>	職員数内訳	25計画	H25.4.1	H26.3.31	H26.4.1	医師	81	77	77	82	看護師	300	307	301	311	医療技術員	59	60	63	61	事務員	17	16	16	16	【合計】	457	460	457	470	嘱託・臨時職員	120	131	123	116	【総合計】	577	591	580	586	定数外職員の割合(%)	(20.8)	(22.2)	(21.2)	(19.8)	A	・看護師については、H25年4月時点で計画数を確保し、さらに年度末までの退職を考慮し、計画的に採用試験を実施した。加えて、新たな取り組みとして特定部門(中央手術室)勤務の非正規職員を募集した。 また、大阪府看護協会の再就職支援事業に協力し講習会を開催した。 ・医療技術員についても、医療サービスと収益の向上をめざし、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師を採用するとともに、地域連携の推進をめざし、医療ソーシャルワーカーの採用試験を実施するなど体制整備に努めた。
職員数内訳	25計画	H25.4.1	H26.3.31	H26.4.1																																															
医師	81	77	77	82																																															
看護師	300	307	301	311																																															
医療技術員	59	60	63	61																																															
事務員	17	16	16	16																																															
【合計】	457	460	457	470																																															
嘱託・臨時職員	120	131	123	116																																															
【総合計】	577	591	580	586																																															
定数外職員の割合(%)	(20.8)	(22.2)	(21.2)	(19.8)																																															
(2) 入院・外来患者の確保	・診療機能のPR、地域の医療機関からの紹介、高度医療の推進による患者の確保	・年間延入院患者数 年間 123,443 人 ・病床利用率 89.0 % ・年間延外来患者数 年間 192,760 人	・各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標患者数の達成を図る	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">H25年度実績</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>120,455</td> <td>97.6</td> <td>120,546</td> <td>△ 91</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>86.8</td> <td>97.5</td> <td>86.9</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>外来患者数(人)</td> <td>202,460</td> <td>105.0</td> <td>199,850</td> <td>2,610</td> </tr> </tbody> </table> <p>・診療機能のPR 市立病院公開講座(8/10、11/30、1/18、2/15、3/15、3/29) 看護部による健康相談事業(公開講座と同時開催) 市立病院だよりの発行 FMちやおへの出演</p>	H25年度実績						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	入院患者数(人)	120,455	97.6	120,546	△ 91	病床利用率(%)	86.8	97.5	86.9	△ 0.1	外来患者数(人)	202,460	105.0	199,850	2,610	B	・延外来患者については、前年度より2,610人の増加となり、進捗率も105%となった。全体として初診患者数は減少したが平均通院回数が若干増加した。 ・入院については、新入院患者数は前年度を196人上回り、手術件数の増加にもつながったが、平均在院日数が前年度より0.2日短縮したことで、延入院患者数は微減となった。 なお、政策医療に係る病床(小児科、NICU、ICU、産婦人科)の利用率は、74.6%であったが、その他の病床では90.6%と、高い利用率であった。 引き続き、診療機能の充実と地域住民へのPRに努める。																				
H25年度実績																																																			
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																															
入院患者数(人)	120,455	97.6	120,546	△ 91																																															
病床利用率(%)	86.8	97.5	86.9	△ 0.1																																															
外来患者数(人)	202,460	105.0	199,850	2,610																																															
(3) 診療単価の向上	・診療機能の充実、高度な手術の実施による質の高い医療提供 ・診療報酬改定に適切に対応	・入院診療単価 51,800 円 ・外来診療単価 13,300 円 ・新たな加算の取得	・各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標設定の診療単価の達成を図る ・H26年度診療報酬改定への対応	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">H25年度実績 (人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価(円)</td> <td>56,412</td> <td>108.9</td> <td>54,070</td> <td>2,342</td> </tr> <tr> <td>外来単価(円)</td> <td>15,186</td> <td>114.2</td> <td>14,479</td> <td>707</td> </tr> </tbody> </table> <p>・算定件数等による増収(主なものを出来高換算) 地域医療支援病院 7,412万円 薬剤管理指導料 703万円 周術期口腔機能管理加算等 595万円 外来化学療法加算 221万円 ハイリスク妊婦加算 209万円など</p>	H25年度実績 (人)						H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	入院単価(円)	56,412	108.9	54,070	2,342	外来単価(円)	15,186	114.2	14,479	707	A	・診療単価については、外来化学療法の増加、手術件数の増加とともに、新たな施設基準や加算による増収に向け、医療者、事務局、PFI事業者の協力により体制を整備したことにより、前年度より上昇した。 医療現場への情報提供と指導の継続により、H26年度の診療報酬改定に対応し、収益とコストを比較しながら、より適切な医療体制をめざす。																									
H25年度実績 (人)																																																			
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																															
入院単価(円)	56,412	108.9	54,070	2,342																																															
外来単価(円)	15,186	114.2	14,479	707																																															

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																													
	・手術件数の増、鏡視下手術の増	・手術室において実施するもの 年間 3,828 件 ・うち全身麻酔手術 年間 2,202 件 ・うち鏡視下手術 年間 272 件	・地域医療機関へのPR ・市立病院公開講座等における手術のPR ・全身麻酔手術、鏡視下手術等の推進 ・施設整備により、外来手術対応の手術室を全身麻酔対応に改修(H25年度～27年度)	・H25年度実績 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>4,151</td> <td>108.4</td> <td>3,807</td> <td>344</td> </tr> <tr> <td>うち全身麻酔手術</td> <td>2,309</td> <td>104.9</td> <td>2,123</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>うち鏡視下手術</td> <td>425</td> <td>156.3</td> <td>310</td> <td>115</td> </tr> </tbody> </table> ※中央手術室において実施する手術 ※鏡視下手術とは、腹腔鏡下手術と胸腔鏡下手術の総称 ・手術室の整備を含む施設整備に着手		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	手術件数	4,151	108.4	3,807	344	うち全身麻酔手術	2,309	104.9	2,123	186	うち鏡視下手術	425	156.3	310	115	A	・中央手術室における手術件数は前年度より344件増加し、4,000件を超え目標を上回った。全身麻酔手術、鏡視下手術についても目標を上回ったが、特に身体への負担が小さい鏡視下手術は前年度から115件と大きく増加しており、当院の医療の質向上に寄与した。 手術室の整備により、全身麻酔手術件数のさらなる増加をめざす。																									
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																															
手術件数	4,151	108.4	3,807	344																																															
うち全身麻酔手術	2,309	104.9	2,123	186																																															
うち鏡視下手術	425	156.3	310	115																																															
(4) 高度医療機器の有効活用	・高度医療機器の有効利用	・CT 検査件数 年間 11,600 件 ・MRI 検査件数 年間 5,325 件 ・マンモグラフィ 検査件数 年間 2,600 件 ・超音波検査件数(総数) 年間 9,700 件	・地域医療機関へのPR活動 ・高度医療機器の更新の検討	・H25年度実績 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT 検査件数</td> <td>12,646</td> <td>109.0</td> <td>12,077</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>MRI 検査件数</td> <td>6,017</td> <td>113.0</td> <td>5,854</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>マンモグラフィ</td> <td>2,765</td> <td>106.3</td> <td>2,721</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波検査</td> <td>12,648</td> <td>130.4</td> <td>12,141</td> <td>507</td> </tr> <tr> <td>(腹部)</td> <td>5,857</td> <td></td> <td>5,590</td> <td>267</td> </tr> <tr> <td>(心臓)</td> <td>3,878</td> <td></td> <td>3,595</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>(その他)</td> <td>2,913</td> <td></td> <td>2,956</td> <td>△ 43</td> </tr> </tbody> </table>		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	CT 検査件数	12,646	109.0	12,077	569	MRI 検査件数	6,017	113.0	5,854	163	マンモグラフィ	2,765	106.3	2,721	44		H25	進捗率(%)	H24	H25-H24	超音波検査	12,648	130.4	12,141	507	(腹部)	5,857		5,590	267	(心臓)	3,878		3,595	283	(その他)	2,913		2,956	△ 43	A	・主要な検査件数については、前年度にCT、マンモグラフィを更新し検査体制の充実に努め、目標、および前年度実績を上回った。 またMRI検査件数についてもH21年度の増設以降着実に増加を続け、6,000件に達した。 ・超音波検査については、前年度に糖尿病の検査を中心に件数を大きく増やし、H25年度においても前年度の水準を維持した。
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																															
CT 検査件数	12,646	109.0	12,077	569																																															
MRI 検査件数	6,017	113.0	5,854	163																																															
マンモグラフィ	2,765	106.3	2,721	44																																															
	H25	進捗率(%)	H24	H25-H24																																															
超音波検査	12,648	130.4	12,141	507																																															
(腹部)	5,857		5,590	267																																															
(心臓)	3,878		3,595	283																																															
(その他)	2,913		2,956	△ 43																																															
(5) 診療報酬の適切な反映	・査定減の防止 ・窓口未収金の督促・未収金発生防止策の実施	・レセプト査定率 0.25 % ・徴収率(現年度分) 徴収率 99.0 %	・診療報酬委員会での分析と対応 DPC分析システムの活用 各種管理料等の算定漏れの検証 査定に対する検証と対策(算定方法見直し、異議申請等) ・債権管理条例の施行に対応した管理体制の実施	・診療報酬委員会での審査機関の査定内容の分析と対応、診療報酬精度調査による請求漏れ等の防止等 ・DPCワーキングチームにより疾病ごとの分析・検討を実施し、診療科及び、看護師をはじめ医療スタッフに改善提案(特別食加算、栄養指導料、がん性疼痛指導管理料の届出など) ・退院時のDPCコード点検による増収額 5,323万円 ・H25年度実績 (H26. 1月現在) (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H25-目標</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプトの平均査定率</td> <td>0.42</td> <td>0.17</td> <td>0.30</td> <td>0.12</td> </tr> </tbody> </table> ・H25年度実績 (H26. 5月現在) (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H25-目標</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓口収入徴収率(現年度分)</td> <td>99.18</td> <td>0.18</td> <td>99.22</td> <td>△ 0.04</td> </tr> </tbody> </table> ・督促件数⇒電話1,218件、文書653件 (H24年度 電話1,211件、文書442件)		H25	H25-目標	H24	H25-H24	レセプトの平均査定率	0.42	0.17	0.30	0.12		H25	H25-目標	H24	H25-H24	窓口収入徴収率(現年度分)	99.18	0.18	99.22	△ 0.04	B	・DPC分析ツールの活用、診療報酬精度調査の継続により、診療報酬の分析と指導に努めている。 ・査定率については前年度より数値が上昇したが、診療報酬委員会における検討、現場への指導を行うとともに、必要なものは異議申請に努めており、引き続きこれらの取り組みを継続する。 ・窓口収入の未収に対しては、窓口対応、電話や文書による督促をPFI事業者の定例業務として日常的に行ったほか、債権回収強化月間にあわせて、文書及び戸別訪問による債権回収も継続し、徴収率の維持に努めた。 未収金への取り組みとしては、発生直後からの対応が重要であるため、引き続き医事部門による早期の対応に努める。																									
	H25	H25-目標	H24	H25-H24																																															
レセプトの平均査定率	0.42	0.17	0.30	0.12																																															
	H25	H25-目標	H24	H25-H24																																															
窓口収入徴収率(現年度分)	99.18	0.18	99.22	△ 0.04																																															

4. コスト削減の取り組み

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等
(1) 給与費の割合の抑制	・給与費比率の抑制	・医業収益に対する職員給与費の割合 49.3 % ※地方公営企業会計基準による職員給与費から算出した比率	・患者数に柔軟に対応した職員数の確保(非正規職員の採用の推進) ・時間帯や各職場の需要に応じた人員の適正配置(効率配置による人員の抑制) ・収益向上策により、相対的に給与費比率を抑制	・H25年度実績 (%) H25 H25-目標 H24 H25-H24 医業収益対職員給与費 45.9 △ 3.4 45.8 0.1 ・給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を含む)の医業収益に対する割合 49.6% ←H24 49.2%	A	・H25年4月の正職員数は前年度比較で16人の増となり、また非正規職員を含めると39人の増となり、年間の給与費は前年度より5.3%増加した。 これにより、職員給与費の医業収益に対する割合は前年度より0.1ポイント上昇したが、目標との比較では3.4ポイント良化となった。 ・給与費総額の医業収益に対する割合は、前年度より0.4ポイント上昇しており、収益との均衡や常勤職員の勤務環境を勘案しながら、非正規職員の効果的な配置を行う。
(2) 診療材料費等の抑制	・医業収益に対する薬品・診療材料費の比率の抑制	・医業収益に対する材料費の割合 19.7 % 自治体病院共済会情報との比較 上位25%以内 ・後発医薬品の積極的採用	・医業収益向上の取り組みと合わせ、相対的に材料費比率を抑制 【診療材料】 ・共同購入品数の増 ・診療科の協力による価格交渉 ・診療材料の市場価格調査 ・在庫管理、使用の適正化 【医薬品】 ・後発品への切り替え ・単価交渉 ・薬剤部から医師への働きかけを継続	・H25年度実績 (%) H25 H25-目標 H24 H25-H24 医業収益対材料費 22.1 2.4 21.2 0.9 ・PFI事業者と現場の協力による、コスト削減アクションプランの実施 SPCにおいて、半期毎の削減計画を継続実施 H25年度に新たに発生した効果額 503万円(税込) GPO共同購入の効果額 720万円(消耗品含む) 血液製剤を除いた値引率13.7% ・薬品費 PFI事業者と協力し病院による卸業者との交渉を実施 後発品拡大に向けた各診療科へのヒアリング ・H25年度実績(H26. 4月現在) (%) H25 進捗率(%) H24 H25-H24 採用率 13.4 / 13.5 △ 0.1 使用率 6.0 / 6.4 △ 0.4 ※血液、麻薬、RI薬品を除く	C	・年間の医業収益に対する材料費の割合は、抗がん剤等の高額な薬品の使用量が増加したため、前年度より0.9ポイント、目標より2.4ポイント上昇した。 高額な薬品の増加等により、薬品費の抑制は容易ではないが、H25年度は、PFI事業者の交渉状況の聴取に加え薬剤部による卸業者との交渉を行った。 ・診療材料についても、PFI事業者の提案や診療材料検討委員会における検討により、医療現場の協力を得ながら、価格交渉、同種同行品への切替、共同購入等に取り組むとともに、適正使用・適正管理に努める。 ・後発医薬品の採用率は前年度とほぼ同じ水準であったが、使用率は新発品の購入が増えたため低下した。 ・後発品については、採用拡大に向け病院幹部と薬剤部による各診療科へのヒアリングを実施しており、医療安全に配慮しつつ、先発品の値引率の向上と後発品による費用抑制のメリットを比較検討しながら、継続した取り組みを行う。
(3) PFI関係経費の削減	・PFI事業関係費の変動費の削減	・PFI事業関係費の変動費の削減	・病院とSPCの協力による診療材料費、医療機器更新、維持管理経費等の抑制 ・計画額と実績額の推移の管理	・診療材料・薬剤の調達 →4-(2) ・医療機器調達、施設設備の維持管理 →2-(5) ・PFI事業に対する支出額 (税込 百万円) 実績 計画額 対計画(%) H16~H25までの支出額 35,229 54,035 65.2 ※計画額=債務負担行為限度額	A	・PFI事業のH25年度までの10年間の支出額は、計画に対して65.2%となっている。 引き続き、医療部門、事務部門とPFI事業者の日常的な協力により効率的な業務運営に努めるとともに、支出の中で大きなウェイトを占める材料の調達や、今後増加が見込まれる医療機器の更新などの変動費についても、引き続き関係する委員会等で検討し抑制に努める。
(4) その他の経費等	・光熱水費の節減 ・ごみの減量化 ・検査の標準化など、治療・検査の見直し	・電気・ガス・水道の使用量の減(前年度以下) ・省エネルギー化にむけた検討・実施 ・ごみ減量計画の策定と実施 ・検体検査委託料の抑制	・H23年度に実施した節電対策を通年で継続実施 ・省エネルギー推進委員会の設置 ・ごみ減量計画の策定 ・シュレッダー増設による可燃ごみから有価物へのシフトの促進 ・来院者への「減量」「分別」への協力依頼 ・院内のゴミ箱の配置と分別方法の見直し(H24) ・会議のペーパーレス化 ・セット検査の発注項目数を調査し、個別に協議	・省エネルギー委員会の設置による削減の取り組み 病棟における電力消費量のチェック⇒看護部を通じ指導 ・夏季・冬季の節電対策の継続実施 執務室の室温28度設定の徹底、消灯励行 上りエスカレータの16時以降の運転停止 自動扉の一部閉鎖、自販機の省エネモード運用 ・H25年度の使用量及び金額(税込) ()は前年度比 電気 7,397kwh(△0.1%) 123,287千円(25.1%) ガス 1,303km3(△3.9%) 122,505千円(6.2%) 水道 121km3(1.7%) 65,438千円(0.7%) ・ごみ減量計画の作成と関係機関への提出 可燃ごみの排出量(約15L/袋)一般廃棄物(可燃)袋数 H25年度 13,030枚(0.9%) ←H24年度 12,918枚 ・院内のゴミ箱の再配置、シュレッダー設置(H24実施) ・調査データに基づき個別に協議(継続実施) ・年間 患者1人当たりの生化学検査(I)実施項目数(件) H25 進捗率(%) H24 H25-H24 入院 3.47 / 3.34 0.13 外来 3.34 / 3.34 0.00	B	・夏季・冬季の節電対策を継続して実施するとともに、省エネルギー委員会により、「エネルギーの見える化」に向け、病棟を中心に月単位で電力消費量の測定と指導を行った。 これらにより電気とガス(コ・ジェネ発電用)の使用量は若干減少したが、料金単価の引き上げにより、前年度より3千万円以上の支出増となっており、更なる省エネルギーの取り組みが必要である。 ・院内で排出されるごみについては、H24年度に分別方法の改善等に取り組んだ結果、対前年度で24%減(可燃ごみ袋)となった。H25年度もおおむね同程度を維持しており、今後の排出量の推移を注視しながらごみの減量化に努める。 ・一定の項目数以上に検査を行っても診療報酬に反映されない生化学検査(I)等については、電子カルテ画面上の注意表示など、常に抑制の働きかけをしている中で、患者一人当たりの項目数は、毎年大きな変動無く推移しており、医療安全に考慮しつつ、継続した取り組みを進める。

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																														
(5)DPCの効果向上	<ul style="list-style-type: none"> ・DPCの検証 ・DPCに対応した検査の外来へのシフト ・院内クリニカル・パスの適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括部分の見直しによる収益単価の向上 ・検査に占める外来の割合 ・CT 85 %以上 ・MRI 90 %以上 ・超音波 85 %以上 ・院内クリニカル・パス適用率 68.2 % 	<ul style="list-style-type: none"> ・DPCデータ分析システムを活用した分析及び各部門への情報提供 ・CT、MRI検査において外来で実施可能なものは外来において実施 ・クリティカル・パスの整備と運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC・コーディング委員会により疾病ごとの分析・検討を実施し、必要に応じ診療科に情報提供(DPC新規分類における病名妥当性の検証等) ・他病院との比較により改善すべき疾患例を抽出し各部門にフィードバック(診療科・看護部・薬剤部・中央検査科・放射線部など) ・適切なコーディングの実践 医事部門と各診療科でコーディング変更のルールを決め運用を開始、退院時点検にてDPCコードの適正化による増収⇒3-(5) ・検査件数に占める外来検査件数の割合(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H25-目標</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT検査</td> <td>85.8</td> <td>0.8</td> <td>85.8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>MRI検査</td> <td>91.6</td> <td>1.6</td> <td>91.2</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>超音波検査</td> <td>84.9</td> <td>△ 0.1</td> <td>84.9</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> ・院内クリティカル・パスの適用率(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H25-目標</th> <th>H24</th> <th>H25-H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリティカルパス適用率</td> <td>68.4</td> <td>0.2</td> <td>69.3</td> <td>△ 0.9</td> </tr> </tbody> </table> 		H25	H25-目標	H24	H25-H24	CT検査	85.8	0.8	85.8	0.0	MRI検査	91.6	1.6	91.2	0.4	超音波検査	84.9	△ 0.1	84.9	0.0		H25	H25-目標	H24	H25-H24	クリティカルパス適用率	68.4	0.2	69.3	△ 0.9	A	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC・コーディング委員会による分析・検討、及び、医療現場へのフィードバックにより、適切に収益に反映させるとともに、包括対象となる医療行為については、医療安全に配慮しながら、効率的・効果的に行うことにより、コストの抑制に努めた。 引き続き、収益とコストの両面からの適切な情報提供を継続する。 入院における検査のうち可能なものについては外来へのシフトを進めており、主要な検査については目標を達成した。 ・クリティカルパス適用率についても目標を上回り、DPCに対応した医療が進んだ。
	H25	H25-目標	H24	H25-H24																																
CT検査	85.8	0.8	85.8	0.0																																
MRI検査	91.6	1.6	91.2	0.4																																
超音波検査	84.9	△ 0.1	84.9	0.0																																
	H25	H25-目標	H24	H25-H24																																
クリティカルパス適用率	68.4	0.2	69.3	△ 0.9																																

5. 経営計画の点検・評価

経営計画の項目	取り組み内容	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題等
経営計画の点検・評価	・「八尾市立病院経営計画評価委員会」の開催	・年1回以上	・経営評価委員会の開催	・第7回経営計画評価委員会の開催(7/25)	A	・院内の経営健全化推進会議(収益部会・費用部会)において進行管理を行うと共に、外部委員の参加のもと、評価委員会を開催した。